

北海道名寄市の特産品

アスパラを市長がPR

9日正午、杉並区役所では、北海道名寄市の加藤剛士市長自らが、店頭で立ち地元の特産品アスパラのPRを行いました。また、加藤市長とともに、田中良杉並区長も交流自治体の応援に声を上げていました。

杉並区の交流自治体の一つである名寄市は、北海道北部の内陸に位置しています。平成元年に、旧風連町と「交流自治体協定」を締結以降、小学生の交流や東日本大震災時での支援活動を協力して行うなど交流は深まり、市民レベルにも広がっています。

その名寄市との交流の一つとして、この時期の定番となっているのが、「なよろアスパラまつり」です。北海道一の収穫量を誇る名寄のグリーンアスパラを知ってもらうことと、そのアスパラなどを育てる名寄市の大地と四季それぞれの魅力を知ってもらうことを目的に開催しています。

「なよろアスパラまつり」は、旬を迎えたアスパラ（LLサイズ 7本入りで500円）の販売が中心です。盆地特有の気候の寒暖差と太陽の光をいっぱいあびたアスパラは、太くとても甘くてやわらかいと評判です。また、区役所1階ロビーでは、名寄市の雄大な自然を紹介する写真展も開催しています。

そんな「なよろアスパラまつり」に、加藤剛士市長自らが店頭で立ち、アスパラの美味しさをアピールしました。また、加藤市長を応援するため、田中良区長も、揃いの法被を身にまとい、アスパラを手で大きな声を上げていました。このアスパラまつりは、明日までですが、売り切れ次第終了になりますので、午前中にお越しになることをお勧めします。



【報道機関 問い合わせ先】

区民生活部文化・交流課 TEL 3312-2111 内線 3785